

公益財団法人日本文学振興会

平成 29 年度事業報告書

1. 平成 29 年 5 月 17 日（水）午後 3 時より、日本外国特派員協会にて第 1 回大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション賞の選考委顧問会を開き、それに先立って行われたネット投票の集計結果と合わせて、大賞受賞者および大賞作品、読者賞受賞者及び読者賞作品を下記の通り決定した。

大賞部門

森健「小倉昌男 祈りと経営 ヤマト「宅急便の父」が闘っていたもの」（小学館）

読者賞部門

菅野完「日本会議の研究」（扶桑社）

その贈呈式および懇親パーティーは 6 月 16 日（金）午後 6 時より日本外国特派員協会にて開催、大賞受賞者に正賞 100 万円と副賞の日本航空国際線往復航空券を、読者賞受賞者に 50 万円を贈呈した。

2. 平成 29 年 4 月 25 日（火）午後 5 時より、パレスホテルにて第 24 回松本清張賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

滝沢志郎「明治乙女物語」

その贈呈式および懇親パーティーは 6 月 30 日（金）午後 6 時よりパレスホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞 500 万円を贈呈した。

3. 平成 29 年 7 月 19 日（火）午後 5 時より、築地「新喜楽」にて第 157 回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 沼田真佑「影裏」（文學界 5 月号）

直木賞 佐藤正午「月の満ち欠け」（岩波書店）

その贈呈式および懇親パーティーは 8 月 25 日（金）午後 6 時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞 100 万円を贈呈した。

4. 平成29年10月4日（水）午後6時より、築地「新喜楽」にて第65回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の6件の受賞を決定した。

① 夢枕獏

「陰陽師」、「餓狼伝」、「キマイラ」など映像化、舞台化、マンガ化が絶えない人気シリーズに加え、山岳、冒険、時代、SF、幻想小説など多彩な文筆活動で、40年にわたり読者を魅了し続けた

② 映画「この世界の片隅に」に関わったチーム一同

戦時下の広島・呉を舞台に、市井の日常を、緻密な時代考証と見事なアニメーション表現で活写。商業ベースに乗りにくいテーマを資金集めに苦心しながらも製作、大ヒットに結びつけた

③ チューリップテレビ報道制作局

富山市議会の強引な議員報酬引き上げへの不信から、地道な調査報道で政務活動費に関する不正を暴く。市議14人を辞職に追い込むきっかけとなり、全国の自治体での政活費チェックへと繋がった

④ 奥本大三郎

文学と科学の幸福な調和である19世紀博物学の不朽の名著・フェアブル『昆虫記』。詩情に溢れ、時に難解ともいわれる全10巻20冊の大作を、30年の月日をかけ見事な日本語に移し替えた

⑤ 浅田真央

世界選手権とグランプリファイナルで計7度の優勝、バンクーバーオリンピックでは3度トリプルアクセルを成功させ銀メダルを獲得。その後も氷上での華麗な演技は、残した記録以上のものを人々の心に刻んだ

⑥ 岸恵子

国内のみならず欧米の映画界でも活躍。市川崑ら多くの名監督と日本映画の一時代を築き上げた。エッセイ、ルポルタージュ、小説と、作家としても注目を集め、表現者として存在感を示し続けている

その贈呈式および懇親パーティーは12月1日（金）午後5時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 平成29年11月11日(土)「人生に、文学を。」オープン講座を、講師に春風亭昇太、東郷隆両氏を招き、上智大学四谷キャンパスにてとりおこなった。

6. 平成29年12月9日(土)「人生に、文学を。」オープン講座を、講師に島田雅彦氏を招き、日本近代文学館にてとりおこなった。

7. 平成30年1月16日(火)午後5時より、築地「新喜楽」にて第158回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 石井遊佳「百年泥」(新潮11月号)

若竹千佐子「おらおらでひとりいぐも」(文藝季号)

直木賞 門井慶喜「銀河鉄道の父」(講談社)

その贈呈式および懇親パーティーは平成30年2月22日(木)午後6時より帝国ホテルにて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。